

誰もが地域の中で心豊かに暮らせるかけ橋に…
～おもちゃ図書館活動30周年～



豊かな心を育むおもちゃがいっぱいです

障がいのある人や子ども、高齢者の笑顔があふれ、楽しく、心安らぐ所、また、おもちゃの役割と遊びの重要性を多くの人に知ってもらおう「おもちゃと人」をつなぐかけ橋を目指し、日々活動しています。

みなさんに支えられ、今年で30年を迎えます。先日、一般財団法人日本おもちゃ図書館財団から永年活動の表彰を受けました。現在は、ボランティア団体「宗像おもちゃライブラリー」の協力を得て開館運営しています。

**つながれ
ひろがれ
地域福祉!**
シリーズ

「障がいのある子どもたちにおもちゃの素晴らしさと遊びの楽しさを」との願いから始まった「おもちゃ図書館」活動。



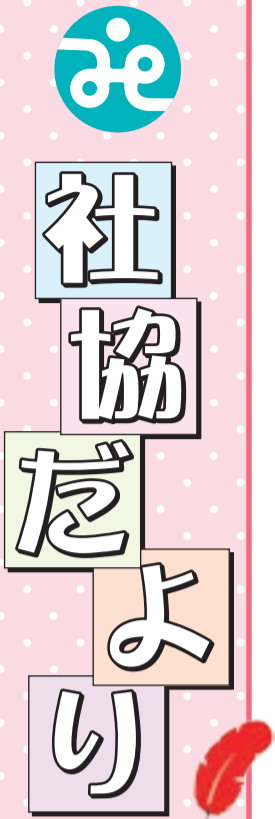
遊びにきてくださいわ!

これからも心を込めて、「子ども主体」のおもちゃ図書館活動を充実、発展させたいと思います。

「布の絵本どんぐり」として出発しました。現在17人のボランティアで頑張っています。利用者や歴代ボランティアのみなさんに支えられ、度重なる図書館移転にもめげず、あつという間に30年が経ちました。今は、毎週の開館と布のおもちゃ作り、時には市内小学校の特別支援学級などに出張もしています。何となく子どもたちの笑顔やお礼の手紙が活動の励みです。スタッフ一同、届いた声に感謝し、パワーにつなげています。

「布の絵本どんぐり」として出発しました。現在17人のボランティアで頑張っています。利用者や歴代ボランティアのみなさんに支えられ、度重なる図書館移転にもめげず、あつという間に30年が経ちました。今は、毎週の開館と布のおもちゃ作り、時には市内小学校の特別支援学級などに出張もしています。何となく子どもたちの笑顔やお礼の手紙が活動の励みです。スタッフ一同、届いた声に感謝し、パワーにつなげています。

宗像おもちゃライブラリー
代表 田中映一郎さん



160号

平成27年10月1日

発行
社会福祉法人
宗像市社会福祉協議会
〒811-3437 宗像市久原180
メイトム宗像2階
TEL 0940-37-1300

宗像おもちゃ図書館

30周年 記念イベント

みんなに
ささえられて**30年**
ありがとう♥の
おもい♥をこめて...

無料

日時 12/23 (水・祝)
13:00~16:00 開場12:30

開場 メイトム宗像
多目的ホール ほか
(宗像市久原180 宗像ユリックス近く)

参加対象
宗像おもちゃ図書館
利用者とその家族、団体ほか

問合せ・申込 【締切日:11/6(金)】
宗像市社会福祉協議会
宗像市ボランティアセンター
(平日: 8:30~17:00 受付)
☎: 0940-37-4100 Fax: 0940-37-4101
※申込は、おもちゃ図書館でもOK

ゲスト 第1部 JOY倶楽部 ミュージックアンサンブル (社会福祉法人JOY明日への恵吹)
第2部 NPO法人 幸せな家庭環境をつくる会宮若支部 (つみきであそぼ)

主催 社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会・宗像おもちゃライブラリー

オープニング
開催式典
[13:00~13:30]
おもちゃとつながる

第1部
ステージイベント
[13:30~14:20]
JOY倶楽部アンサンブル
つみきであそぼ

第2部
交流会(つみきであそぼ)
[14:30~15:45]

● 日程 10月18日(日) 午前9時30分~正午

● 終了後交流会

● 場所 宗像シティボウル

● 交流会場 MKレスト

● ラン宗像王丸店

● 対象 障がいのある人

● 定員 20人程度

● 参加費 1360円

● *交流会出席の場合、食費は840円

● 申込・問い合わせ先 10月8日(木)までに同センターへ

☎ (34) 2411 (FAX) (34) 2422

① **どんなおもちゃが
あそぶの?**
楽しく遊ぶ、心身の成長を促す創意工夫と愛情が込められた手作りの布のおもちゃや国内外から集めた物が約800点あります。安全で安心して

② **おもちゃ図書館
活動のいろいろ**
布のおもちゃづくり
身近な素材の布製の絵本や的あて、お天気し

③ **おもちゃの貸し出し**
成長やニーズに合わせ
ンターなどを作っています。数を覚えたり、ひもの結び方を学ぶなど、教材としても使われています。

④ **出張おもちゃ図書館**
要請に応じ、市内で開催されるイベント、療育教室や特別支援学級などにおもちゃを持って出か

⑤ **記念イベントを
12月23日(水・祝)に
開催!!**

今回は、「ボウリング」を予定しています。これは参加者からのアンケートをもとに企画したもので、ボウリング終了後は、希望者で昼食をとりながらの交流会も計画しています。地域で仲間作りをしたい人、地域の行事に興味がある人の参加をお待ちしています。

スマートフォンから
社協ホームページへ
かんたん
アクセス!

携帯電話(スマートフォン)でQRコードを読み取ると、市社会福祉協議会のさまざまな情報が閲覧できます。



障害者生活支援センター

ピアサポート事業参加者募集!

土・日曜日、祝日を除く 午前8時30分~午後5時
☎(34)2411 ①(34)2422
メールアドレス aaw09180@hkg.odn.ne.jp

スポーツの秋!
ボウリングで
楽しもう



幸せを 羽根にたくして つなげよう

赤い羽根共同募金は、民間の社会福祉事業を支援するため「社会福祉法」に位置づけられ、毎年10月1日から12月31日までの間、全国一斉に展開されています。

この募金は、市内の全小・中学校での児童・生徒への福祉教育などの取り組みや各地域の福祉会、障がい児・者への福祉事業に使われています。今年もみなさんのご理解とご協力をお願いします。

赤い羽根共同募金運動はじまる

10月1日～12月31日

たすけあいの心

日本で共同募金運動が始まって60年以上が過ぎました。この間、社会経済状況も急激な変化をみせ、人々の生活も意識も変わってきました。共同募金は、人々がともに生きていこうという「たすけあいの心」に支えられ、人々の幸せを願ってともに歩んできました。

平成26年度の募金実績額は、1222万312円

自治会や町内会など地域住民のみなさんの協力を得て各世帯にお願いする「戸別募金」をはじめ、市役所、学校、福祉団体を対象にクオカードなどの資料を活用する職域募金、学校や病院、公共施設、事業所などでの募金箱による募金などいろいろな方法でお願いしています。

平成27年度募金の使いみち

平成26年度に宗像市で集められた募金は、全て福岡県共同募金会へ送金し、配分委員会などの審

査の後、平成27年度に、市社会福祉協議会を含む各申請団体などに配分されました。平成26年度に集まった募金は「平成27年度共同募金の使いみち(表1)」のように有効に活用されています。共同募金は、募金をした地域で生きる寄付金です。

共同募金は計画募金

共同募金は、募金が集まってから使いみちを決める募金ではありません。事前に地域福祉のための使いみちの計画を立てます。この使いみちの計画に必要な額が「目標額」になります。

平成27年度の募金目標額

今年度の「目標額」は、昨年度実績と同額の1222万312円です。この目標額を達成することで「平成27年度共同募金の使いみち(表1)」のような事業・活動を平成28年度も安定、継続して行うことができます。

一世帯700円の目安額

市全体の「目標額」は1222万312円ですが、「一世帯ではどれだけの金額を協力したらいいの

か」ということが分かります。一世帯700円を目安に協力していただくと、計画されている事業が実施できます」と目安額をお知らせすることにしています。

この目安額を示すことが強制と受け取られがちですが、決してそうではありません。募金目標額を達成するためにお願いする「目安」ですので、みなさんのできる範囲内でのご協力をお願いします。

多くの人に支えられている共同募金

「共同募金実績額の推移(表2)」をみると、戸別募金(各世帯からの募金)が共同募金全体の約9割を占め、市内の多くの世帯からの募金に支えられています。

また、地域のいろいろな場面で、自治会長や組長、事業所や公共施設、学校の先生や児童、生徒のみなさんからの多くの支えで成り立っています。

ひとりひとりのたすけあいの心が、地域福祉活動に活用され、より住みよい地域をつくっていく原動力となります。みなさんのご理解とご協力をお願いします。

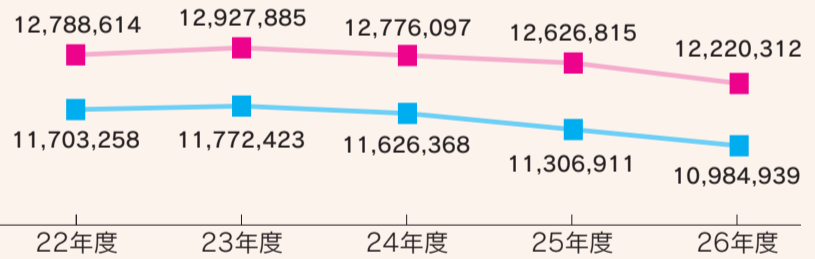
平成27年度共同募金の使いみち(表1)

平成26年度の実績額は、1222万312円でした。ありがとうございました。この募金は平成27年度、下記のような活動に活用されています。赤い羽根共同募金は、みなさまのあたたかな気持ちを、具体的な活動につなげていく、「じぶんの町を良くするしくみ」です。これからもご理解とご協力をお願いいたします。

項目	金額
高齢者の福祉に ●在宅介護者の会の支援 ●小地域ネットワーク活動への助成金 ●シニアクラブ連合会への助成金 ●配食サービスボランティアへの助成金 ●民生委員児童委員協議会への助成金	1,176,000円
障がい児・者の福祉に ●身体障害者福祉協会への支援 ●あじさいの会への助成金 ●手話講習会への助成金 ●あゆみの会への助成金 ●声の広報配布事業の支援 ●要約筆記ボランティアの支援 ●おもちゃ図書館運営の支援 ●ライフサポート事業への助成金 ●宗像コスモス会への助成金	2,108,000円
ボランティア活動に ●福祉ボランティア活動連絡協議会活動の支援 ●大島地区ボランティア団体への助成金	484,000円
福祉会活動の支援に ●地域住民の自主的な地域福祉活動	2,781,000円
児童・青少年の福祉に ●福祉教育読本「ともに生きる」の活用 ●福祉教育推進校(園)事業	1,251,072円
子育て支援活動に ●地域福祉文庫連絡協議会の支援 ●子育てネットワークこねっとへの助成金 ●母子・寡婦福祉会への支援	550,000円
県内の福祉施設や災害準備金に ●県内全域を対象とした社会福祉施設や福祉団体に ●災害準備金に	2,634,640円
情報提供・啓発活動に ●社協だよりの発行	478,000円
共同募金の事務費に ●チラシの作成、資材の購入など	757,600円

共同募金実績額の推移(表2)

合計 戸別募金 (単位:円)



赤い羽根共同募金 配分金団体紹介

「介護をしても 語り合いの中から笑顔になれるように...」

宗像市在宅介護 家族の会ひまわり 会長 平田良枝さん



当会は、家族の介護にたずさわる「介護者の会」です。悩みや不安などを本音で語り合い、情報交換と心身のリフレッシュを図り、介護にかかるとさまざまな問題の軽減に取り組むことを目的としています。活動は、おしゃべり会や勉強会、リフレッシュバスハイクなどの定例会を月1回実施しています。

共同募金の配分金のおかげで定例会を開催でき、心をリフレッシュして日々の介護にたずさわることができています。

このような事業ができるのも共同募金の配分金をいただいたおかげだと感謝しています。今後も介護者の心に寄り添う会を目指します。

在宅介護者1日 リフレッシュセミナーの案内

市内在住で、在宅介護をしている人を対象に「在宅介護者1日リフレッシュセミナー」を開催します。今回は、田主丸に行く予定です。

- 日程 10月27日(火)
- 対象 市内在住で、在宅介護をしている人
- 行先 久留米市田主丸町(予定)
- 参加費 1人1000円
- 定員 30人(応募多数の場合は、抽選)
- 申込方法 10月16日(金)までに市社会福祉協議会 ☎(37) 1300へ申し込む

ひとり親家庭 バスハイク参加者募集中!

市母子寡婦福祉会が、市内在住のひとり親家庭の親子を対象にバスハイクを開催します。今年は秋吉台サファリランドに行きます。

あなたも、ひとり親家庭の仲間と親子で楽しいひと時を一緒に過ごしてみませんか。

- 日程 11月1日(日)
- 対象 市内在住のひとり親家庭の親子
- 行先 秋吉台サファリランド
- 参加費 ▽会員 1人500円
▽非会員 1人800円
- 定員 30人 (応募多数の場合は抽選)
- 申込方法 10月20日(火)までに市社会福祉協議会☎(37)1300へ申し込む

市あゆみの会リフレッシュ バスハイク参加者募集

市内在住で、心身障がい児・者の家族を対象にリフレッシュバスハイクを実施します。

今回は、八女市に行く予定です。同じ立場の仲間と楽しいひと時を過ごしませんか?ぜひ参加してください。

- 主催 市あゆみの会
- 日程 11月25日(水)
- 対象 市内在住で、心身障がい児・者の家族
- 行先 八女市伝統工芸館 他 (予定)
- 参加費 1人1,000円
- 定員 15人 (応募多数の場合は、抽選)
- 申込方法 11月10日(火)までに市社会福祉協議会☎(37)1300へ申し込む

子どものすこやかな成長のためにも、ゆつくり話を聞いてみませんか。

- 日程 10月29日(木)
- 会場 メイトム宗像・202会議室
- 講師 福岡おはなしの会代表 八尋理恵さん
- 対象 子育て中の人 関心のある人
- 参加費 無料
- 定員 先着50人
- 託児あり 5カ月以上から 先着15人
- 申込方法 10月15日(木)までに市社会福祉協議会☎(37)1300へ申し込む

ふんわりとあたたか
本心を本音で
スティーブ・セグール
参加者募集



地域福祉文庫
講演会

午前10時~正午(午前9時30分から受付)

ボランティアセンター通信

土日曜日 祝日を除く 午前8時30分~午後5時
〒374-0001 宗像市大島1809番地32 ふれ愛センター内
本センター http://kouyukan.com/v-nei/ 電話 (37)4101
メールアドレス v-nei@syakyo.munakata.com

自分にできる 「こと」を発見!

「ジュニア ボランティア スクール」報告



このスクールは、「今の自分のできごと」を考え、進んで実行していくことが目標です。今年から低学年向けのコースを設け、小学1年から6年が受講し、こども福祉員「バンビ」「ピッコラ」合計20人が誕生しました。

親子で 理解を深めた バンビコース

「認知症の人も住み慣れた場所です。自分らしく過ごしてほしい」という思いから、保護者といっしょに認知症について学びました。誰でもなる可能性があります。誰でもあることについて、どのような症状で、どのように前と変わっていくかなど、親子で理解を深めている様子でした。「もしも、自分のおじいさん、おばあさんが認知症になったら、何ができるかな?」の問



「こども福祉員
バンビ」です!

「10年後、こんな大人 になりたい!」を 考えた ピッコラコース

今回は、ボランティア活動や認知症サポーター養成講座、高齢者疑似体験など福祉分野の学習に加え、環境、産業歴史分野の学習を取り入れました。

環境保全に取り組んでいる「エコライフ市民の会」の大谷さんに、「危機迫る地球温暖化の現状やCO2削減につながる生活方法を学びました。『水を出しっぱなしにしない』『無駄な電気はすぐに消す』といったエコ宣言を掲げ、地球を守るエコ活動に取り組もうと誓いました。

「だんだん電気が 光ってきたよ!」

高齢者、ボランティア、施設職員ほか、異世代の人々と過ごした3日間、なかなか聞き取れない知恵や知識を身に付けました。交流会で出会ったお年寄りが涙ながら喜んだ姿を目の当たりにし、参加者は何を感じたのでしょうか?

世の中には、高齢の人や障がいのある人、いろ



者疑似体験を通じて感じた心身の変化など、真新しい知識や見聞に発見がいっぱいの日々でした。楽しみにしていたデイサービスセンターのみなさんと交流会。最初は、互いにドキドキ、戸惑いの様子でしたが、福祉ボランティア「にじいろぼけっと」のみなさんから伝授されたハンドマッサージで手も心もほぐれ、徐々に笑みがこぼれてきました。「上手だね」「気持ちよかねえ」のほめ言葉に、参加者も誇らしげな表情でした。

社協だよりは、偶数月の1日号です (年間6回)

社会福祉法人 宗像市社会福祉協議会

大島支所 宗像市大島1809番地32 ふれ愛センター内 ☎(37)1300
ホームページ http://syakyo.munakata.com/ メール info@syakyo.munakata.com

本会は、むななたタウンプレスを音にして届ける「声の広報」活動を実施しています。

寄付 ありがとうございます ありがとうございます

【香典返し】(敬称略)

- ・(故)養父 守 (田島)
- ・(故)原田 直博 (田熊)
- ・(故)安部タエ(城西ヶ丘)
- ・(故)内野タマ子(石丸)
- ・(故)本田切磋(三郎丸)
- ・(故)江藤正春(自由ヶ丘)
- ・(故)山本 猛(三郎丸)
- ・(故)砂留 市郎(稲元)
- ・(故)阿部三代子(田熊)
- ・(故)吉武 淳子(久原)
- ・(故)力丸 義孝(大井)
- ・(故)宮本 武蔵(大島)
- ・(故)中村 文雄(野坂)
- ・(故)瀧口 寅喜(山田)

(平成27年8月31日受付分まで)

市社会福祉協議会では、随時寄付を受け付けています。地域福祉の推進のために、ご協力をよろしくお願いいたします。

ボランティア入門講座参加者大募集!

~はじめましてを香りにのせて~

ボランティアに関する基礎的な学習とアロマ石鹸を使った「香り袋」の製作体験を実施します。香り袋にはメッセージを入れて、名刺代わりに「はじめましてのボランティア活動」にいかしてみませんか。自分に何かできる事をはじめてみたい人、ボランティア活動に興味のある人もない人も、ぜひ参加してください。

- 日程 11月11日(水)9:15~12:15
- 場所 メイトム宗像・調理室(2階)
- 内容 「ボランティア活動について」「アロマ石鹸香り袋作り」「バックトリートメント施術体験」など
- 持参品 豆腐空パック、タオル、はさみ、筆記用具など
- 参加費 300円(材料費、保険代など)
- 定員 先着20人
- 申込方法 10月23日(金)までに同センターへ



手と手で心もほっこり!

※バンコ[Bambino] [bambino(子)も]を省略したと思われる「ピッコラ[piccola]「小さい」ともにイタリア語が由来です。